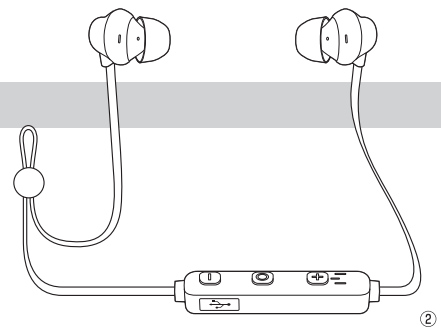
AudioComm®

取扱説明書

ワイヤレスステレオインナーホン

型番：HP-W172N-W/K/R
品番：03-2282/2283/2284

このたびは、AudioComm®ワイヤレスステレオインナーホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。



使い始める前に

本製品には、以下のものが含まれています。お使いの前に必ず内容をお確かめください。
●インナーホン本体　●専用充電コード　●イヤーチップ（S、M、L ※Mは本体に装着済み）
●保証書　●取扱説明書（本書）

免責事項

右記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
●本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
●本製品のために費やした時間及び経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害
●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

●充電式電池（リチウムポリマー電池：本製品に内蔵）は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。また、電池の交換はできません。
●充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「感電注意」が描かれています。
○	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
●	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠危険

接触禁止

充電式電池（リチウムポリマー電池）が液もれしたときは、素手で触らない
●本機には充電式電池（リチウムポリマー電池）が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
●万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
●液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

⚠警告

禁止

運転中は本機及び携帯電話を使用しない。運転中に携帯電話の画面を注視しない。運転中以外でも、周囲の音が聴こえないと危険な場所（踏切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など）では本機を使わない
●必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因となります。
●歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようにご注意ください。

航空機内や医療機器の近くで使わない
●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

付属の充電コード以外では充電しない
●火災や感電、機器の故障の原因となります。

火の中に入れない
●本機にはリチウムポリマー電池が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。

自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない
●高温になると、危険を防止するためリチウムポリマー電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。

本機や充電コードの上に重いものをのせない
●本機の破損・故障や、コードが傷ついて火災・感電の原因となります。

イヤホンコードや充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
●コードが破損して火災・感電の原因となります。

分解禁止

本機を分解、修理、改造しない
●火災・感電の原因となります。

22cm以上離す

心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す
●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

接触禁止

雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び充電コードに触れない
●感電するおそれがあります。

使用禁止

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する
●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する
●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

⚠注意

禁止

暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない
●破損・故障の原因となります。

振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない
●落下してけがをする可能性があります。また、本機の破損・故障の原因となります。

本機をシンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない
●変形・変色の原因となります。

ズボンなどの後ろポケットに本機を入れたり、かばんの中に入れたままにしない
●気づかずに椅子などに座ったり、かばんに力が加わるなどして変形や破損、故障の原因となることがあります。

磁気カードや腕時計などを近づけない
●磁気の影響により、記録内容の消失や故障の原因となることがあります。

充電コードを熱器具に近づけない
●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

自動制御機器（自動ドアや火災報知器など）の近くで使わない
●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない
●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●必ずプラグ部を持って抜いてください。

日本国以外では使用しない
●本機は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
●海外では国によって電波使用制限が異なるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

音量に注意

長時間、大音量で聴き続けない
●聴力障害などの原因となることがあります。
●はじめから音量を上げすぎないでください。

保管場所に注意

小さなお子様の手の届かないところに保管する
●誤飲など思わぬ事故を招くことがあります。

水かけ禁止

浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない
●感電や故障の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で操作しない
●故障や感電の原因となることがあります。

Bluetooth無線技術について

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、近距離（最大約10m以内）であれば、どこにいても無線通信により音楽や通話を楽しむことができます。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。
※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。
【対応バージョン】　Bluetooth標準規格 Ver.5.0
【対応プロファイル】
・HFP（ハンズフリーで通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル）
・A2DP（高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル）
・AVRCP（再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル）
●本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

セキュリティーについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティーとして、標準規格に準拠したセキュリティー機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。　本製品は日本国内でのみ使用できます。

使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯（2.4GHz帯）では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許が必要）、特定小電力無線局（免許が不要）、及びアマチュア無線局（免許が必要）が運用されています。
1.ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2.本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室（保証書参照）にご連絡いただき、混信回避のための処置（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3.そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

●本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
●病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
●混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
●医療機関内では次のことを守ってください。
・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には持ち込まない。
・病棟内では本機を使わない。
・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

主な仕様

電源	DC5V（USB給電：microUSB入力端子）
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池（3.7V　60mAh）
型式	ダイナミック型　口径10mmドライバー
インピーダンス／感度	16Ω／ 92dB
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.0
対応プロファイル	HFP、A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC
変調方式／周波数帯域	FHSS ／ 2.402～2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m（Class2）
最大登録可能台数	2台
再生周波数帯域	20Hz～20kHz（A2DP）
マイク指向特性／感度	全指向性／−42dB
充電時間	約1.5時間（残量ゼロからフル充電まで）
再生可能時間	約4.5時間（50%音量）
通話可能時間	約4.5時間（50%音量）
待受可能時間	約50時間
許容動作温度／湿度	温度：0～40℃　湿度：20～80%（結露なしにて）
外形寸法	イヤホン：幅17.6×高さ15.2×奥行15.8mm
	コントローラー：幅52.5×高さ11.8×奥行9mm
	全長：約54cm
質量	約12g
付属品	専用充電コード、イヤーチップ（S、M、L）、保証書、取扱説明書

※充電時間、再生可能時間、通話可能時間、待受可能時間、最大通信距離はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。 ※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。 ※外形寸法のイヤホンはイヤーチップM装着時、コントローラーは接合部を除く、全長はイヤホンを含む寸法です。 ※本書のイラストは実際の製品と一部異なる場合があります。

故障かなと思ったら

●電源が入らない
・十分に充電しましたか。

●ペアリングができない
・Bluetooth機器の電源は入っていますか。
・Bluetooth機器は本機のプロファイルに対応していますか。
・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。

●Bluetooth接続ができない
・本機及びBluetooth機器の電源は入っていますか。
・Bluetooth機器が他の機器と通信していませんか。
・Bluetooth機器がスリープ状態になっていませんか。
・Bluetooth機器内で本機の登録が削除されていませんか。

●音が出ない
・ペアリングは行ないましたか。
・本機またはBluetooth機器の音量が最小になっていませんか。
・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。

●音声が途切れたり、ノイズやエコー音がする
・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
・無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

●充電できない
・本機とパソコンが正しく接続されていますか。
・付属品ではない充電コードを使用していませんか。
・USBハブなどを経由して接続していませんか。
・パソコンが省電力モードやスリープモードになっていませんか。

●Bluetoothにて接続中の携帯電話に着信があっても、本機が応答しない
・携帯電話の設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていませんか。
・一部の携帯電話では、Bluetooth使用に際して切換操作が必要なものがあります。携帯電話の取扱説明書でご確認ください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

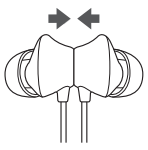
この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●**調子が悪いときは**：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
●**保証期間中は**：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●**保証期間が過ぎた場合は**：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

マグネットについてのご注意

インナーホンにマグネットが内蔵されており、スマートに収納できます。ただし、キャッシュカードなどの磁気カードや腕時計などを近づけると、磁気の影響により、記録内容の消失や故障の原因となることがありますので、ご注意ください。



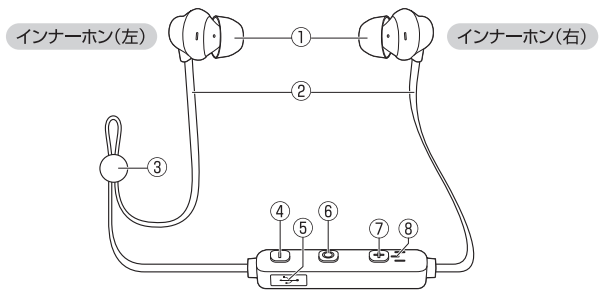
お手入れのしかた

必ず電源を切ってから行なってください。

●本機の表面が汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後にから拭きをしてください。
●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しない

各部の名称



①イヤーチップ
②イヤホンコード
③コードアジャスター
④音量／スキップボタン(−)
⑤充電用USBポート
⑥マルチファンクションボタン
⑦音量／スキップボタン(＋)
⑧LEDランプ／マイク(内蔵)

電源のオン／オフ

電源オン

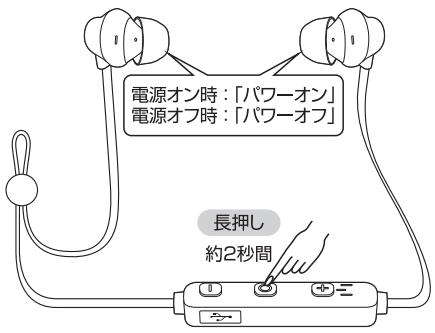
マルチファンクションボタンを
約２秒間長押しします。

●インナーホンから「パワーオン」の音声が流れて電源が入ります。
●はじめて使うときは、ペアリングが必要です。「ペアリング(初期登録)のしかた」を参照して操作してください。

電源オフ

電源が入っているときに
マルチファンクションボタンを
約２秒間長押しすると、電源が切れます。

●「パワーオフ」の音声が流れて、電源が切れ、LEDランプも消灯します。



主なLEDランプ表示と
その内容は右表のとおりです。

LEDランプ	内　容
点灯(赤)	充電中(完了すると青・点灯)
点滅(青⇄赤：交互点滅)	サーチモード(接続可能機器を検索中)
約5秒ごとに1回青く点灯	接続中(再生動作中)
約6.5秒ごとに1回青く点灯	接続中(動作停止中)

ご注意

●Bluetooth接続中は、無動作状態(音楽などを聴いていない状態)が続いた場合でも自動的に電源は切れません。そのままかばんなどにしまうと、電池を消耗するだけでなく、電話着信などに気づかないことがありますので、必ず本機の電源を切ってください。
●Bluetooth接続中に音声が途切れたり、サーチモードになる場合は、
・本機とBluetooth機器との間に障害物がある　・所定の通信距離以上に離れている
・本機またはBluetooth機器の電池残量が減少している
などが原因として考えられます。障害物の有無や両者間の距離、電池残量を確認してください。

ペアリング(初期登録)のしかた

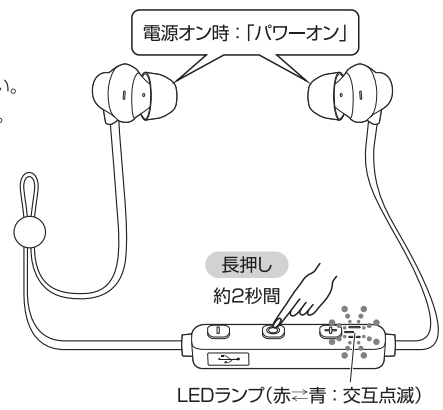
ペアリングとは、本機をインナーホンとして使用する相手側のBluetooth機器(携帯電話やスマートフォンなど)に本機を初期登録する操作のことです。はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

❶ 本機の電源が切れていることを確認し、
手元に本機とBluetooth機器を用意します。

●両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
●相手側のBluetooth機器は電源が入った状態にします。

❷ マルチファンクションボタンを
約２秒間長押しします。

●インナーホンから「パワーオン」の音声が流れて電源が入ります。
●しばらくすると「ペアリング」の音声が流れて、サーチモードとなり、LEDランプが赤／青の交互点滅となります(赤／青の交互点滅はBluetooth機器を探していることを示しています)。



❸ Bluetooth機器側で本機を登録してください。

Bluetooth の設定画面を開く

iPhone： [設定]→[Bluetooth]	SoftBank： [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]
Android： [設定]→[その他の設定]→[Bluetooth] [設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]	au： [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]
NTT docomo： [アプリ]→[設定]→[Bluetooth]	Windows Mobile： [設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

お使いのBluetooth機器側で本機の名称 HP-W172N が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は 0000 と入力してください。
※携帯電話によってはご自身で設定されたパスワードが必要な場合があります。

本機との接続が完了すると…

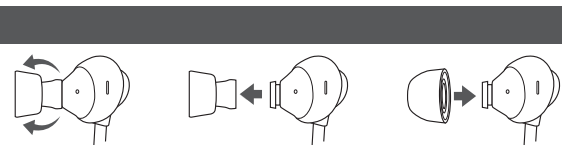
インナーホンから「コネクティッド」の音声が流れ、本機を使用できる状態になります。接続完了後は、LEDランプが約6秒に1回青く点灯します。

ご注意

●**対応プロファイル**：本機はBluetooth標準規格 Ver.5.0(プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
●接続しようと思っている相手側機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行なっているときは、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行なってください。
●サーチモードのまま約５分30秒が経過すると、本機の電源が切れます。その場合はもう一度最初からやり直してください。
●一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは、ペアリング操作を再度行なってください。
●最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth機能も有効なときは、本機の電源を入れると自動的に接続されます。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書を参照し、本機との接続を確立してからお使いください。
●意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切るかBluetooth機能をオフにしてから操作をやり直してください。
●本機は最大２台のBluetooth機器を登録できます。2台を超えて登録しようとすると古いものから削除されます。

イヤーチップの交換方法

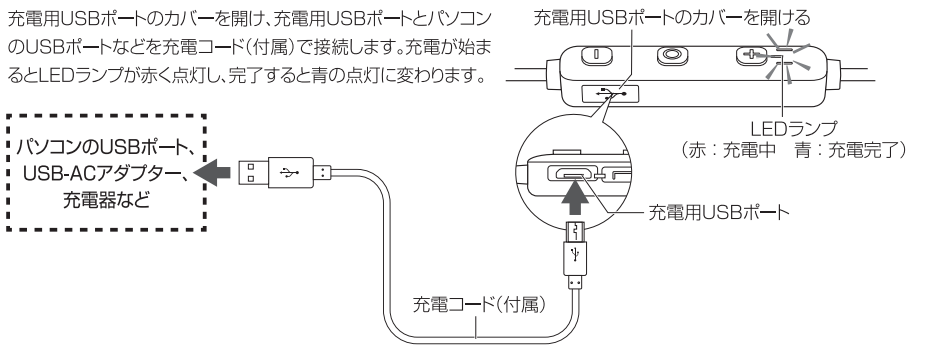
本機には3種類(S、M、L)のイヤーチップが付属しています。フィットするサイズを選んでご使用ください(工場出荷時は、Mサイズが装着されています)。



① イヤーチップを裏返す　② イヤーチップを取り外す　③ 新しいものをはめ込む

充電のしかた

充電用USBポートのカバーを開け、充電用USBポートとパソコンのUSBポートなどを充電コード(付属)で接続します。充電が始まるとLEDランプが赤く点灯し、完了すると青の点灯に変わります。

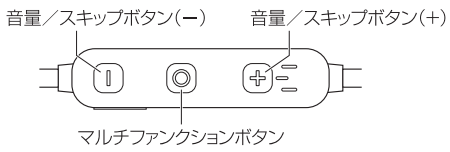


ご注意

●はじめてお使いになるときは、十分に充電してからご使用ください。
●充電中は本製品を使用できません。
●充電には必ず付属の充電コードをご使用ください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。
●本機を充電するには電源供給ができるUSBポートに接続する必要があります。また、本機とパソコンは直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。
●充電中にパソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください。
●残量ゼロからフル充電までは約1.5時間かかります。十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
●許容動作環境(温度：0℃～40℃、湿度：20～80%、結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していなくても、青の点灯に変わることがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
●電池残量が少なくなると、「バッテリー ロー」の音声が数回流れ、LEDランプ(赤)が約５秒に１回点灯します。その後しばらくすると電源が切れますので直ちに充電してください。
●長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも３ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。
●家庭用コンセントで充電する場合はUSB充電AC電源アダプター(別売)をご利用ください。

オーディオコントロール

本機はA2DPに対応しているので、接続した携帯電話やスマートフォンの音楽や音声を聴くことができます。

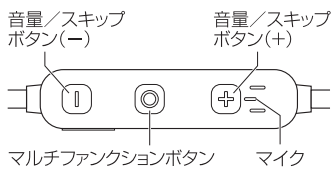


ボタン	短く押す	長押し
マルチファンクションボタン	再生／一時停止	電源を切る
音量／スキップボタン(+)	音量を上げる	次の曲を再生
音量／スキップボタン(−)	音量を下げる	曲の先頭に戻って再生。 直後にもう一度長押しすると ひとつ前の曲を再生

ヒント

●音量調節時に最大音量に達すると電子音が鳴ります。
●接続先の機器によっては、ボタンを操作しても機能しないことがあります。

着信・通話操作



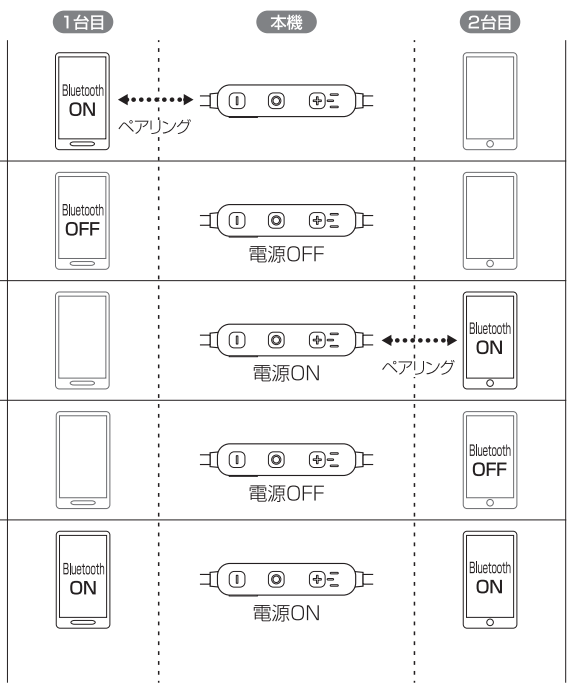
動作	操作方法
電話に出る	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを押す
電話を切る	通話中にマルチファンクションボタンを押す
リダイヤル	マルチファンクションボタンを2回続けて押す
音量を上げる	音量／スキップボタン(+)を押す
音量を下げる	音量／スキップボタン(−)を押す

ご注意

●通話時はマイクを指先や衣服などでふさがないようにご注意ください。
●接続先の機器によっては上記の操作ができない場合があります。その場合は機器側で操作をしてください。
●**リダイヤルについて**：リダイヤル先は最後に発信した相手となります(着信相手へのリダイヤルはできません)。
●お使いの機種によっては、携帯電話側で着信音や通話音声の出力設定が必要な場合があります。本機にて音声を聴きたい場合は、各機器付属の取扱説明書を参照し、本機を選択してください。
●**着信音について**：携帯電話の機種や設定によっては、着信音が本機から１回だけ聴こえたり、その後は携帯電話側から通常の着信音が出力される場合などがあります。

マルチポイント機能を使う

マルチポイント機能を使うと、2台の携帯電話を待ち受けることができます。以下の手順で設定してください。



❶ 1台目の携帯電話とペアリングし、
接続した状態にします。

❷ ステップ❶の携帯電話の
Bluetooth機能をOFFにします。
その後、本機の電源も切ります。

❸ 2台目のBluetooth機能を
ONにした後、本機の電源を入れて、
2台目とBluetooth接続します。

❹ 本機の電源を切り、
2台目の携帯電話の
Bluetooth機能もOFFにします。

❺ 1台目→2台目の順で携帯電話の
Bluetooth機能をONにし、
最後に本機の電源を入れます。

※2台の携帯電話に自動的に接続されない場合は、携帯電話を操作して手動接続してください。

ヒントとご注意

●**いずれかの携帯電話に着信(呼び出し)があった場合**：マルチファンクションボタンを押すとその電話に出ることができます。
●**2台とも着信があり、呼び出し中の場合**：マルチファンクションボタンを押すと、最初にかかってきた携帯電話とつながります。
●**通話中にもう一方の携帯電話にも着信があった場合**：
・マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、通話中の携帯電話は保留になり、後からかかってきた電話に出ることができます。
・もう一度マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、後からかかってきた電話を保留し、元の電話(最初にかかってきた電話)との通話を再開します。通話が終了すると2台とも待受状態になります。
●携帯電話の機種によっては、マルチファンクションボタンによる操作で通話を終了することができないことがあります。その場合は相手に通話を切ってもらうか、携帯電話側で操作をしてください。
●**リダイヤル機能について**：1台目の携帯電話のみリダイヤル機能が有効で、最後に発信した番号に電話をかけます。ただし、携帯電話の機種によっては、ロックがかかっているとリダイヤル機能を使えない場合があります。
●マルチポイント機能が使えるのは携帯電話のみです。パソコンやゲーム機との同時待受はできません。
●本機と接続した2台の携帯電話を3者間通話などで同時に使うことはできません。
●この機能はすべてのBluetooth対応携帯電話での動作を保証するものではありません。